

**長岡第八小学校 4年生 平和学習
児童の感想まとめ（一部抜粋・原文まま）**

○今日の授業を受けた感想

- ・戦争は改めてとてもこわく、大変なことがわかった。自分の地区の近くで戦争があったなんて知らなかった。
- ・戦争が絶対にしてはいけないことだと改めて思いました。戦争では食べ物がなくなってしんでしまうことが分かりました。
- ・正直に言うと聞いているだけでもこわかったし改めて身近なことなんだなと感じました。戦争は今も残念だけど続いているからもうこの世界で戦争なんて続いてほしくないです。
- ・長岡京市で空襲があったなんて知らなかったから、長岡京市バーチャル平和きねんかんで調べようと思いました。
- ・戦争や空しゅうは私が考えていることよりすごくこわいものだった。私はとても幸せ者だと思う。なぜならたくさんの戦争があり、お父さんたちが戦争に行って戦死するとかはないから、家族いっしょにいれるから。くらせるから。私はこれから、この日本のように平和な世界ができてほしいと思えた。
- ・この授業で戦争はわたしの思った以上にこわいことと知りました。わたしたちのパパとママがあのようなになるのは今はありえないことだと思います。昔、戦争にまきこまれた人はなみだが出るほどかわいそうです。もちろんそれはだれかのことでなくみんなのことです。この学習を学んで、もうにどとあのような悲しいことが起こらないようにわたしもなにか役に立ちたいなど今は思っています。
- ・今日の授業で、始めて神足空襲について知りました。私たちは今とっても幸せだということも分かりました。お話をきいてるとむずかしい言葉がたくさんでてきたけど、小林先生が分かりやすく教えてくれたので、今までしらなかった言葉など新しいことが勉強できました。でもまだ少ししか分からないこともあるから、家で市役所の人がおしえてくれたけんさくほう法でゆっくり学んでみたいなあと思いました。これから、たくさんの人が平和にすごせるように私にも出きることは、できたらいいなあと思います。
- ・私はまず神足が空襲されていたなんて、今日の話聞くまでまったくしなかったです。でも今日話を聞くと戦争はこわくてたいへんで、いろんな人の命がなくなってしまうんだなとあらためて感じた。だからもう、どの国もいっしょう戦争しないでほしいと思った。
- ・今日の授業で戦争はとっ〜てもこわいことがよりよくわかりました。初めて聞く言葉や戦争の歴史もしれました。もし、私達が大人になって、日本が「戦争しよう!」とかいっていたら、止めたいと思いました。日本も他の国も戦争しないでほしいです。
- ・京都の神足の周りで空しゅうがあったなんて知らなかったけど今日のべんきょうで空しゅうがあったことがわかった。わかりやすかった。空襲はたくさんの人が亡くなるんだなあと思った。
- ・「くうしゅう」と言う言葉を初めて聞いたから、そんな言葉があるんだなと思った。
- ・神足空しゅうのれきしやそれまでのながれがしれてよかった。長岡京市バーチャル平和きねんかんで調べてみようと思った。
- ・人がなくなったり、家が火事になってしまったり、そんなことをまねく戦争はとてもおそろしいなと思った。もし自分が戦争をけいけんしたら…と思い、戦争が起こっていない今の人生を大切に生きようと思いました。
- ・空しゅうや戦争というのは、とても重いこと、ひがいを受けることというのがよくわかりました。そして、ひがいをうけたがわのことも考えるということも考えなくてはならないというのが分かりました。空しゅうや戦争でなくなられた人もたくさんいるというのも分かって、空しゅうと戦争のこわさがあらためて知りました。
- ・戦争について少しくわしくなって神足についても少しくわしくなれてよかった。長岡京市バーチャル戦争祈念館を使って戦争にもっとくわしくなりたいと思った。クイズもやってみたい!
- ・昔は長岡京市も空しゅうにあったことがびっくりした。でも、日本も中国の南京に戦争をしていて、日本もちょっとだめだなと思いました。なぜかというやられたらやりかえすみたいだから人の気持ちを考えないといけないなと思いました。後戦争でものはこわいことを前よりもっと知りました。
- ・長岡京市でもこんなにかわいそうなことがあったんだなと思いました。日本とほかの国の戦争のれきしをしれてよかった。ぜったいにバーチャル平和祈念館のクイズを全問せいかいしようとおもった。
- ・今まで知らなかったことを平和学習で学べてよかったし、空しゅうについても知れてよかったです。たくさんの勉強になった。

○長岡京市でおこった神足空襲についてどう思いましたか。

- ・岡田ヒロ子さんの話を聞いて、「死ぬのはイヤヤ」と言っていて、とても悲しい気持ちになった。日じょうのことやっている時、とつぜんくるのはものすごくこわいと思った。
- ・本当にこの今住んでいるところまでまだ100年もたたない間に空襲が起きていたなんてこわいなと思いました。その亡くなった人も自分が亡くなるなんて予想していなくて急にじゅうげきされたので本当にこわすぎます。とてもかなしいなと思いました。私は戦争がきらいです。今ウクライナが戦争で負けています。早くロシアが戦争をやめてほしいです。
- ・神足空しゅうでは1人の女性が亡くなった。他の戦争や空しゅうより死者はぜんぜん少ない。でも大切な命が一つうばわれた。ヒロ子さんは「死ぬのはいやや」と何度も言った。きっと、まだまだ幸せにたくさん生きたかったんだと思う。私は戦争をする意味が分からない。土地がほしいという目的だったとしても、多くの人の命をうばってまですることではないと思う。ただ決められた土地で平和にすごせばいいと思う。
- ・こんな近くでむかしこんなことがあったことにびっくりした。
- ・平和がないとこんなことになってしまうんだなと思った。もう二度と空しゅうがないようにしたい。
- ・神足空襲で1人の女性が亡くなってしまったし、他にも数人けがをしていたからこわかったです。でも日本もせんそうしていたからどっちもどっちだと思いました。
- ・京都の中で空襲はおきていないと思っていたけど、じっさいおきていてしかもそれがぼくたちが住んでいる長岡京市でおきていたなんてそうぞうもしませんでした。
- ・長岡京は、今私たちがすんでいるけど、この私たちが住む長岡京で神足空襲があったときいたときは、とてもビックリしました。今はとーても平和で幸せな長岡京だけど、昔この地でこんなことがあって、死んでしまった人もいるということはとてもこわいことだと思った。幸せに産まれられてうれしい。
- ・神足にはよく用事があって行っていたけど、「神足空しゅうがありました」ってきいて、次神足に行く時は、神足には空しゅうのあとがないかさがしてみようと思った。神足のために自分には何かできることがあるかなと思った。
- ・長岡京市で空しゅうがあったことが今まで知ってなかったから長岡京市で昔、空しゅうがあったときいてびっくりした。今は空しゅうがないから平和だと思った。
- ・神足空しゅうは、さいしょはなんのことがわからなかったけど、はなしをしてくれていってわかった。こわいなと思った。
- ・ふつうに工場で働いていた1人の女性が亡くなったというのは、すごく悲しいことだと思う。その兄も戦死したのがすごく悲しかった。長岡京で144名も戦死しているのがすごくびっくりしました。
- ・空しゅうで一人の女の人がなくなられて、その家ぞくがとてもかなしんでいたことが分かりました。空しゅうはとてもきけんなものだというのがよく分かりました。
- ・神足空襲は空からくるからいつくるかわからないからでんきもつけられなくて戦争をしていない町の人たちにもひがいがおこるのはとってもかわいそうだなと思った。工場で働いていた1人の女性が亡くなって戦争はこわくて亡くなった女性もかわいそうだなと思った。
- ・近くで戦争がおこってこわいと思った。戦争時代にいた人は、こわかったんだろうなあ勉強してわかった。
- ・命をうばってしまう空しゅうは、おそろしいと思った。でも、日本も空しゅうをやっていたんだと思うと、日本もこわいなと思った。
- ・長岡京市は戦争にはあまりかんけいがないと思ってたけど長岡京市にも空しゅうという物がきたことをしって戦争はすごくこわいと思った。
- ・ぼくは神足で空襲があったなんてしらなかった。べんきょうにもなった。

○今日の学習で一番心に残ったことはなんですか。

・戦争は大ぜいの人がしぬんだと思いました。ぜったいにやってはいけないと思いました。144 人もしぬことがわかって家族がいつまでもつづいているといいなと思いました。

・日本が勝った時にちょうちん行列をしていたことです。あの時戦争は「国のための戦争だ」と言われていたけど今にとっては人口をへらしてしまう大事な命をうばうことなのに何も考えずにただただよろこぶことはおかしすぎると思いました。

・小林先生の言葉で「相手の気持ちを考える」という言葉。たしかに私もそう思う。自分が勝って「わ〜い!わ〜い!」とよろこんだかって、戦争でたくさんの人が亡くなっている。自分の家族や友達、知り合い…いろんな人がぎせいになる、そうすると必ずだれかがかなしむ。これは戦争だけではない。たとえばけんかをして、悪口を言って勝ったとする。自分はいいかもしれない。でもその相手は、いい気持ちにはなれない。泣いてしまうかもしれない。自分だけじゃなく、他の人のことも考えないといけないなと思った。

・戦争をする国と、される国、両者それぞれ気持ちを考え、両者相手のことを考えることが一番心に残りました。相手の気持ちを考えることが大切だということは聞いたしゆんかん分かることでした。

・市役所のホームページで空しゅうのクイズで学べるのが心に残りました。

・日本が中国をこうげきした所。日本だからわたしが日本にすんでるからいいやと思ってしまったけど、相手の気持ちを考えるといわれたら、日本と同じでいっぱいの人が死んでしまったんだなと思いました。

・今は、ウクライナとロシアとかがやっているけどこれ以上国どうしが戦争をしないことをねがいます。

・わたしはげんばくドームが一番心に残りました。理由の1つ目は多くの人びとがいつせいにどんっとなくなるのはかわいそうすぎるし、げんばくの光で健康へのひがいが出てしまうのもかわいそうだなと思います。2つ目はなんであんな大きいはんいはかいされちゃうの!?!と思ったからです。

・ヒロ子さんのこのことで、「死ぬのはイヤヤ」というヒロ子さんのセリフが一番心にのこったわたしもみんな死ぬのはいやだと思ひ、大切な人とおわかれするのもしずかしいやだから。

・小林先生がとても分かりやすく説明してくれたので小林先生のお話、全て心に残っています。とてもていねいに 2 時間おしえてくれたので、とてもうれしかったし、話をきいていて楽しかったです。

・今の私と同じくらいの子がかいた手紙が心に残った。その中でも 4 年生の男子がかいた作文はとても心にしみた。お父さんがいなくてつらいんだろうなと思った。

・日本の人が戦争を始めたことがあること。相手の気持ち(心)を考えること。

・一番心にのこったのは、相手のことも考えるということ。理由は自分もまけることがあったらきもまけるからまけたときのじょうきょうなども同じだからかわいそうと思ったから。

・岡田ヒロ子さんと子どもがかいた兵隊さんへの手がみの話が一番心にのこった。

・自分の国が戦争で勝っても、相手のまけた国の子どもや住んでいる人がなくなったり、家が焼けて住む場所がなくなったりした人がいることをわすれずに、そうぞうすることがとても大切なことなんだなと思った。戦争は人がなくなったり、住む場所がはかいされたりする悲しいことで、もうぜったいにしてはいけないことなんだなとあらためて思った。

・岡田ヒロ子さんみたいに家族とかをなくすのはいやだなと思った。せんそうはやめてほしいなとおもった。

・戦争や空しゅうなので大きなひがいをうけるというのが分かりました。戦争でやられたがわのことも考えるというのもよく分かりました。

・長岡京市に空しゅうがあったこと。

・お父さんが戦争に行った子の手紙をよんで自分もそうになったらどうなるのかな?って考えたこと。

・子どもたちの手紙が一番心に残りました。今も戦争がつづいていたら自分の父も戦争に行くのかなと思ってドキッとしました。

・神足空襲の話。